

需要面からみた

中国経済の成長構造

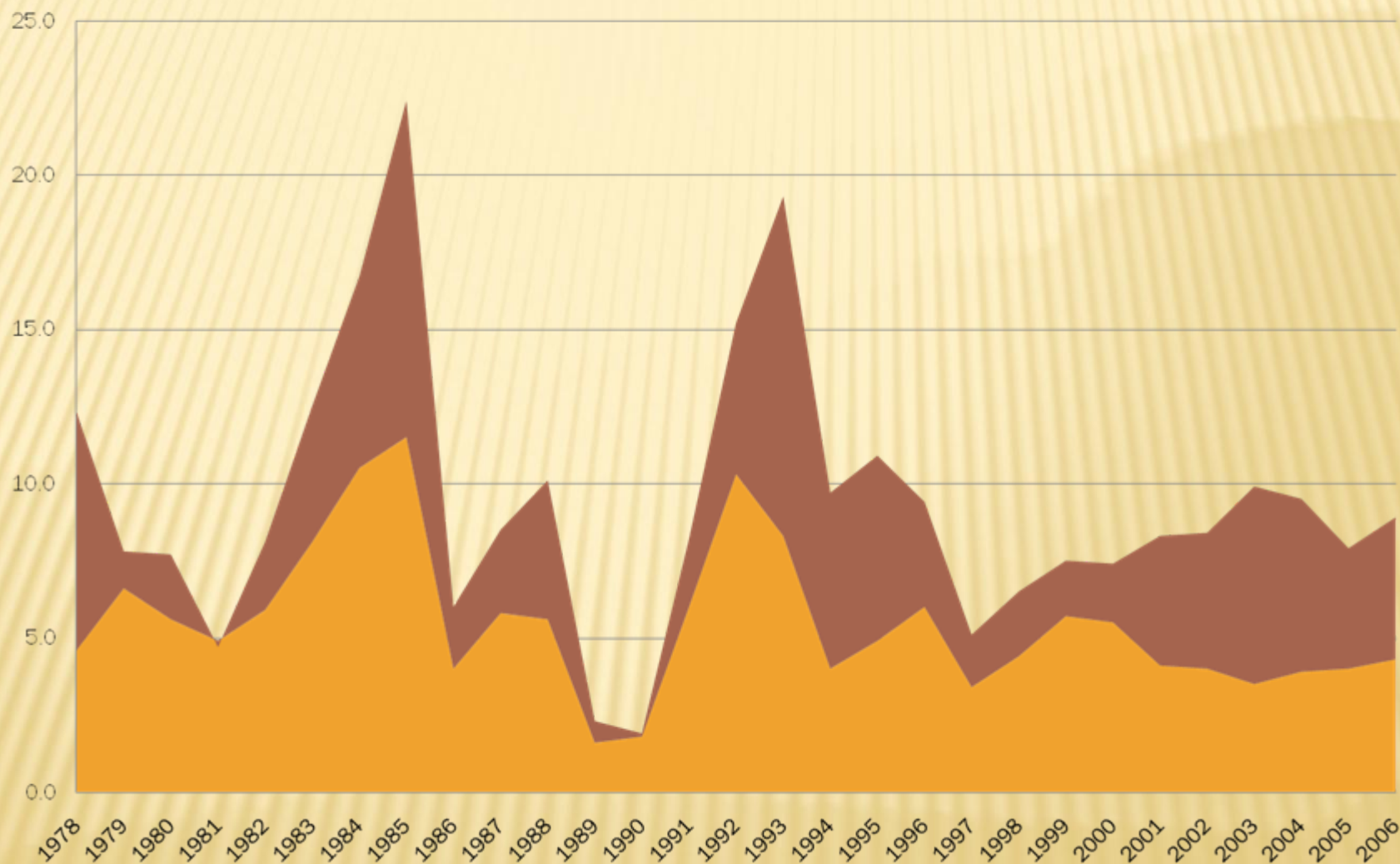
拓殖大学
杜 進（ト シン）
2008年11月

需要面からみたGDP実質成長の要因（1978-06、％）
 国家統計局『中国統計年鑑2007』より

	経済成長率	最終消費	資本形成	純輸出
1978	11.7	4.6	7.7	-0.6
1979	7.6	6.6	1.2	-0.2
1980	7.8	5.6	2.1	0.1
1981	5.2	4.9	-0.2	0.5
1982	9.1	5.9	2.2	1.0
1983	10.9	8.1	4.4	-1.6
1984	15.2	10.5	6.2	-1.5
1985	13.5	11.5	10.9	-8.9
1986	8.8	4.0	2.0	2.8
1987	11.6	5.8	2.7	3.1
1988	11.3	5.6	4.5	1.2
1989	4.1	1.6	0.7	1.8
1990	3.8	1.8	0.1	1.9
1991	9.2	6.0	2.2	1.0
1992	14.2	10.3	4.9	-1.0
1993	14.0	8.3	11.0	-5.3
1994	13.1	4.0	5.7	3.4
1995	10.9	4.9	6.0	0.0
1996	10.0	6.0	3.4	0.6
1997	9.3	3.4	1.7	4.2
1998	7.8	4.4	2.1	1.3
1999	7.6	5.7	1.8	0.1
2000	8.4	5.5	1.9	1.0
2001	8.3	4.1	4.2	0.0
2002	9.1	4.0	4.4	0.7
2003	10.0	3.5	6.4	0.1
2004	10.1	3.9	5.6	0.6
2005	10.4	4.0	3.9	2.5
2006	11.1	4.3	4.6	2.2

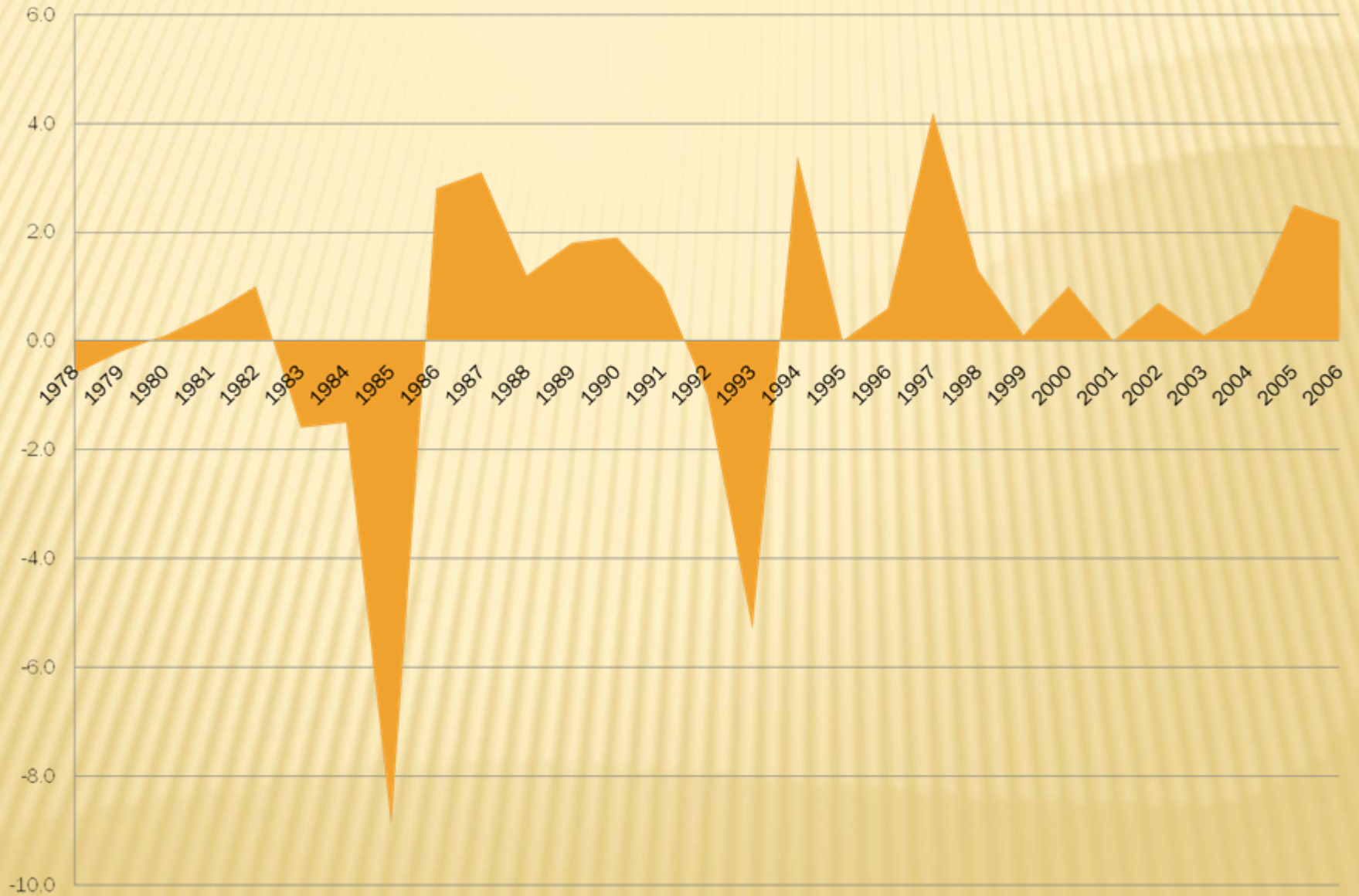
「内需」による経済成長率（1978-2006. %）

■ 最終消費 ■ 資本形成



海外需要による経済成長率（1978-2006、%）

■ 純輸出



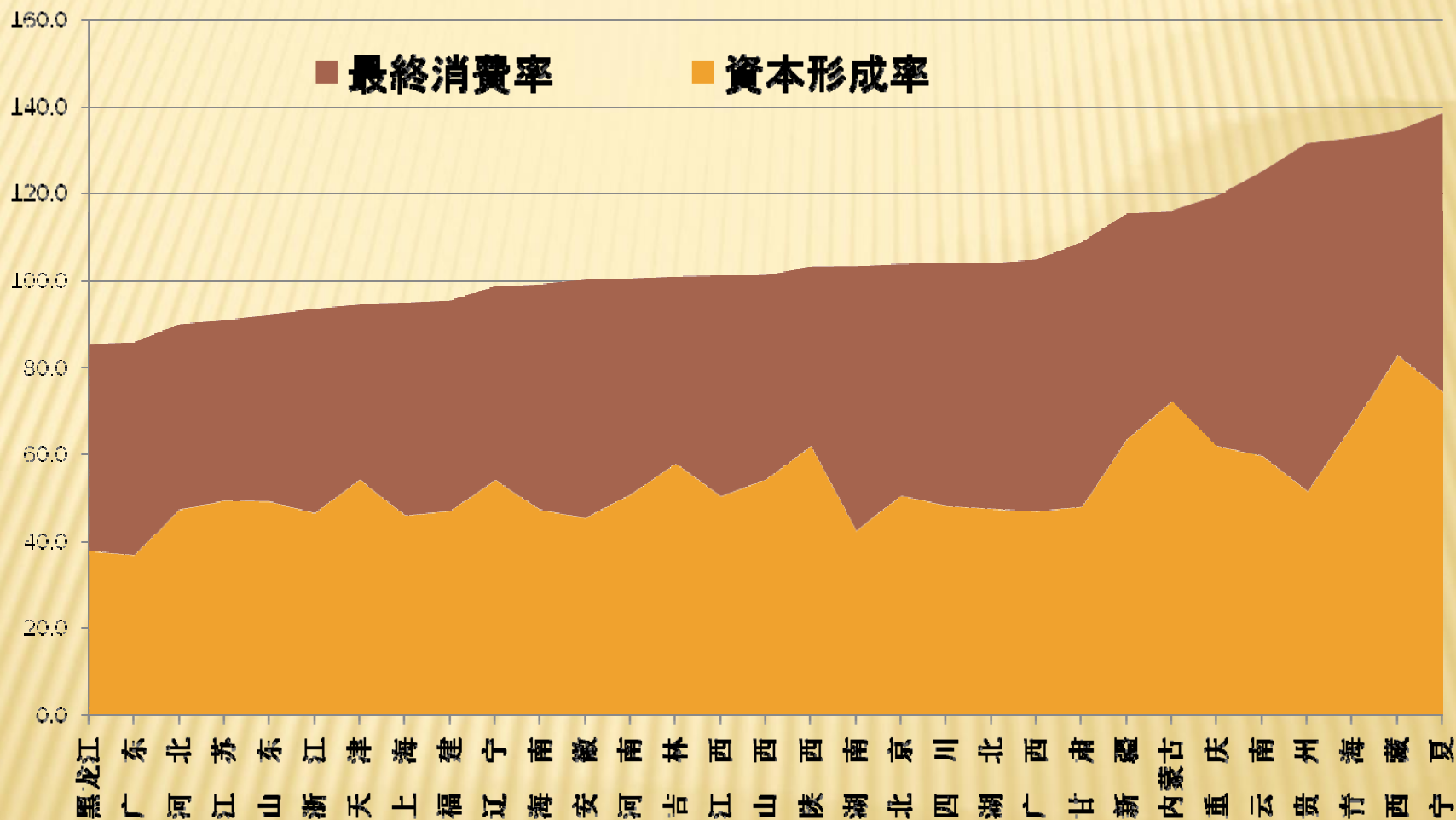
中国の国際収支の推移（億ドル）

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
国際収支総額	522	677	986	1794	1938	3100	4942
経常収支	174	354	459	687	1608	2500	3720
対GDP比%	1.8	2.5	3.1	3.6	7.1	9.5	11.3
資本収支	348	323	527	1107	630	600	1222
外貨準備	2122	2864	4033	6099	8190	10662	15280

07年と08年の経済成長率

- × 2007年の数値
- × 純輸出のGDP成長率への寄与率 = 19.7%
- × 生産法によるGDP成長率 = 11.9%
(内需=9.6% 外需=2.3%)
参考：支出法によるGDP成長率=12.9%
- × 2008年1-9月の数値
消費と投資は加速しているが
純輸出は第1と第2四半期は減少、第3四半期は3%の増加
全年度を通じて、9~10%の成長率は可能であろう

地域別内需依存度の相違（2006年）



出所：国统局网站『中国统计年鉴2007』より

若干の考察（インプリケーション）

- × 需要面で見ると限りは、内需が堅調であり、外需の貢献がなくても08年の中国経済は9%以上の成長率が実現されよう
- × 現状は、むしろ政府が打ち出した「外需依存からの脱皮、消費を中心とする内需依存型成長パターンへシフトする」方針に合致
- × 問題は、①消費振興策の策定、②輸出産業の不振と輸出に依存する沿海地域の景気後退への対策
- × 望ましい政策の方向性：輸出企業を国内市場のための生産に誘導する：新しい「西征・北伐」の奨励